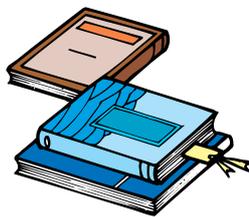


ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日
毎週月曜日
7月11日(火)

夏休み特別映画会

『映画 忍たま乱太郎』

日時 7月23日(日) 午前10時・午後2時
場所 2階ハイビジョンホール
定員 各回120名
入場

整理券(無料)を7月8日(土)から配布します。
図書館カウンターまでお越しください。

金曜映画会

『ホワイト・ラブ』(山口百恵主演)

日時 7月28日(金) 午後2時から
場所 2階ハイビジョンホール
定員 先着100名
整理券は不要です



ご利用ください

7月・8月は午後7時まで閉館します
(土・日・月曜日、7月11日(火)を除く)

文芸

◆俳句

乳を呑む仔馬や足を踏んばりて 浅野 茂子
石垣のつづく裏道柿若葉 池田 逸子
雨一と日うす味に炊く春の露 伊藤 敬子
涼風や手櫛うなじを通り抜け 今関満喜子
急な客あわてて探す団扇かな 魚地 照子
入梅や天与のしめり農むかし 大木浅治郎
雨しだる一と日の長きおじぎ草 川島 孝夫
早ばやと厨の灯もる梅雨雲 川島 通則
湯ヶ原や戦友会の夏の宴 桑名 大行
夕蛙里の静寂に響きけり 向後 寛
アルバムの顔のなつかし梅雨ごもり 越川せつ子
田植機と一番電車霧の中 佐瀬 輝夫
捨て猫の鳴く声細し梅雨に入り 椎名万里子

夏めくや宵にけいこの村太鼓 玉虫 栗扇
父の日やサーベルの音懐かしむ 福田 幸子

夏めきて夜風の部屋の灯をけしぬ 藤代 ゆう

大空を切り裂き納屋の初燕 布施 和代

旅立ちの朝一声ほととぎす 村上 淳

寝具屋に蚊帳有りますの走り書き 安井やすお

黒南風や叩く魚板のしめり音 山口 一秋

梅漬ける塩の加減は母ゆずり 若梅あやめ

日照雨去り風の牡丹となりけり 渡部 和秋

◆短歌

病む身置く部屋の片すみ逆光の鏡に映る若葉いとしむ 伊藤 定男
雅なる色たをやかに藤の花 低木なれどわが庭に満つ 土屋マサ子
あた、かき鼓動はつきり耳にして身を寄せ寝かす曾孫の成長 土屋 好
心まで覗きみられる心地して 歯科医の前に大きく口あく 佐瀬 初音
前ぶれもなき息子夫婦の訪れに 夫いつになく饒舌となる 芹川 初子
ひとり居の老い慰むと企画せし 福寿会へと招かれてさぬ 斎藤つね子

推茸のハウスを解体しつついて 亡夫の工夫のいくつかを知る 田崎 尚美

花の名はランキユラスと名を添へて 鮮やかな花われは賜ふる 永藤 滋

鯉のぼり老人ホームに泳ぎあつ 五月の空の澄みたる中を 池田 春江

かぐはしき匂ひに足とめ仰ぎたる 頭上に白く朴の花咲く 長谷川正子

さかり過ぎ褪せたる藤の花を見つ 七七日の法要に来て 吉岡 信子

病院へ続く歩道を手をつなぎ 老いし夫婦が語りつつゆく 八角 三枝

澄み渡る皐月の風を身に受けて 鯉のぼり泳ぐ里に一軒 押尾 輝子

怒りたる昂ぶり心に主婦吾れは 風呂場の床をキシキシ磨く 西山満里子

心まで覗きみられる心地して 歯科医の前に大きく口あく 佐瀬 初音

前ぶれもなき息子夫婦の訪れに 夫いつになく饒舌となる 芹川 初子

ひとり居の老い慰むと企画せし 福寿会へと招かれてさぬ 斎藤つね子